

# 7・8月 園だより

令和6年6月28日



さり気ない優しさ

園長 石川 千恵子

暑い日が続きました。子どもたちは水遊びやプール遊びを楽しみながら、水の冷たさや、流れる、浸み込むなどの性質に気付く姿が見られます。水はとても魅力的な素材なので存分に遊んでほしいと思います。また、関東も梅雨入りしましたが、雨の日も室内で体を動かせるように環境を整えたり、レインコートを着て雨の日散歩をしたり、楽しく過ごせるように工夫していきます。

第一園舎では、毎月うみ組とほし組と一緒に誕生会を開き、お祝いしています。先日行われた6月の誕生会で素敵なことがありました。

この日の主役は4歳児A君と5歳児B君の二人でした。「自分の名前と組と好きな遊び」を答えるインタビューの時に、照れているのか緊張しているのか、A君は自分の順番になっても立ち上がりません。隣に座っていたB君は、心配そうにA君の顔を見ていましたが、何も言わずにそっとA君の右手を取ったのです。するとB君は笑顔になって立ち上がり、インタビューに答えることができました。B君はA君に安心と勇気をもたらしたと思いました。その場にいた皆の心が温かくなった素敵な場面でした。さり気ない優しさをB君から学んだ思いです。

毎日の生活の中で子どもたちの優しさに触れることがよくあります。人に優しくできるのは、きっと自分も優しくしてもらっているからでしょう。保育者や友達、保護者の方と関わる中で、相手にも気持ちがあることを知り、共感したり思いやりのある行動をしたりするようになっていきます。子どもたちには、自分を大切にし、同じように人も大切にしたいと思っています。

## 元宿こども園教育・保育目標

主体的に夢中になって遊ぶ

たくましいこども

やさしいこども

かんがえるこども



絵本との出会い

第一園舎副園長 板倉 幸子

絵本を手にした子が、「先生これ読んで」と保育者の所に来ました。保育者が絵本を読み始めると膝に座って絵をじっと見えています。保育者の発する声の表現やトーンの心地よさを感じているようです。そばにいた子どもたちも一人、二人と集まり一緒に聞き入っていました。そのような様子を見て心が和みました。

園では絵本との出会いを大切にし、絵本を好きになってほしいと願い、年齢や子どもたちの興味・関心に合わせて選書し、絵本の貸し出しにも取り組んでいます。

動画やメディアなどに触れる時間が多くなりがちではありますが、ぜひご家庭でも絵本を手にとり、読み語りをしたり、お気に入りの絵本や大好きな絵本を見付けたりして親子で絵本を楽しむ時間を大切にしていだけたらと思います。



## 【元宿寄席】

9月10日(火) 15:15から16:00

4、5歳児が風天亭かず丸(ふうてんていかずまる)さんと酔葉月亭ばじる(すばげっていばじる)さんによる落語を聴きます。

保護者の方も一緒に聴いてみませんか?希望される方は職員にお声掛けいただき、当日第一園舎の遊戯室にお越しください。お待ちしております。

知ると分かる。すると変わる。





## 1歳児 りす組

子どもの声が聞こえて来ると、はっと耳を澄ませたり、「〇〇ちゃん（の音がする）！」と嬉しそうに言ったりします。靴を履く時に手伝ってくれるぱんだ組や、元気に遊ぶうさぎ組のお兄さんお姉さんに親しみをもっていることが伝わってきます。

ある朝、いつも通り園庭に出ると、みんなの姿が見えないためか、部屋に戻ろうとする姿がありました。「どうしたのかな？」と一緒に園庭を見渡してみると、うさぎ組とぱんだ組の子どもたちはプールにいました。「あ、みんな、プールにいるね」と指さすと、みんなの気配を感じてほっとした表情になり、遊び始めました。また、バケツに入れた水を運ぼうとしたり、ジョーロで水を撒こうとしたり、大きい子どもたちのまねをする姿があります。上手くできなくても表情や言葉で保育者に伝えてくるので、少し手伝うと“そうそう、こうしたかったの！”という満足そうな顔になっています。“発見や驚き、楽しい気持ちなどを大切に受け止め、やりたい気持ちを汲み取ることで、相手に伝わる喜びや嬉しさを感じられるようにしていきます。

- 保育者と一緒にいろいろな遊びを楽しむ中で水や砂、泥に触れた感触や子どもたちの発見を受け止めていきます。
- 保育者と触れ合いながら自分の思いや要求が伝わることの嬉しさを味わえるようにしていきます。



## 2歳児 うさぎ組

ある日、ままごとの水道で手洗いの歌をうたいながら、手を洗うまねをしていました。そばのテーブルにはごちそうが並んでいて、「いただきます」と言って食べるまねや「ごちそうさま」と手を合わせる仕草をするなど、日常生活の中で経験していることを、自分なりに再現して遊んでいました。

少しずつ身の回りのことを自分でしようとする姿が見られ、「自分で！！」と自己主張することもあります。自分でできた時は、とても嬉しそうです。上手くできないこともあります。保育者に気持ちを受け止めてもらい、またやってみようという気持ちになっています。子どもたちの意欲と自信につながるよう丁寧に関わっていきます。

また、3歳児のまねをして太鼓橋に上ろうとしたり、鉄棒にぶら下がってみたり「やってみたい！」という気持ちが出てきています。やってみたい気持ちを大切にして、子どもの表現する世界を一緒に楽しんでいきます。

- 保育者や友達と水遊びや砂遊びを楽しみ、水や砂などの感触を楽しめるようにしていきます。
- 興味をもった身の回りのことを自分でやろうとする気持ちを大切にしながら見守ったり援助したりし、自分でできた嬉しさを感じられるようにしていきます。



## 3歳児 ぱんだ組

砂場で遊んでいた時のことです。砂を集めて手で押し固め、大きな砂山を作りました。両側から掘りトンネルができると、作っていた子は水道の方へ走って行きました。以前、トンネルから水を流して遊んだことを思い出したようです。小さいバケツで水を運び、流すとその時は川のようになりますが、すぐに水はなくなってしまいます。どうするのかと見守っていると大きいやかんで水を運び始めました。やかんになみなみと水を入れ、初めは取っ手を上から持って運んでいましたが、繰り返し運ぶうちに取っ手を下から持つと力が入ることに気付き、持ち方を変えていました。また、「水がなくなるから〇〇ちゃん、持ってきて」と言ったり、「重いから一緒に持って」と自分の言葉でして欲しいことを伝えたりする姿も見られました。みんなで水を運んだことで大きい“温泉プール”ができ、そこに入ったことは楽しい経験になりました。これからも友達や保育者と一緒に楽しい遊びをたくさんしていきたいと思います。

- 保育者や友達と一緒に水の心地よさや、砂や泥の感触を全身で感じられるようにしていきます。
- 伝えたい思いを受け止めてもらいながら、保育者や友達との遊びの中で自分の思いを伝えられるようにしていきます。





## 4歳児 ほし組

4月に園庭に咲く菜の花で色水を作りながら「これでスライムできるかな」という子どものつぶやきから始まったスライム作りの実験が続いています。色水をかき混ぜればスライムになると思っていたようですが、上手くいきません。これまでの経験から凍らせたり塩や小麦粉を入れてみたり、1ヵ月以上試してもスライムになりません。そろそろ保育者の出番と思い、本棚にスライム作りの本を置いてみたところ、すぐに本に気が付きました。必要な材料が分かり、ついにスライムができると「本物のスライムができた！」と言って、一緒に実験を重ねてきた友達と喜び合う姿がありました。

スライム作りは一人のつぶやきからクラスみんなへと広がり、その後、「スライム屋さんをやりたい」と、遊びが展開していきました。「いっぱい商品がないと」「看板も必要だよ」「チケットもいるかも」と自分たちで必要なことを考え、準備を進めていました。スライム屋さん当日は、お客さん(3歳児・5歳児・職員)に商品を勧めたり遊び方を教えたり、張り切ってお店の人になっていました。次は違うお店屋さんをしたいという声も聞かれます。子どもたちの発想やイメージを大事に関わっていきたいと思います。

- 自分のイメージしたものを形にしなが、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにしていきます。
- 水を使った遊びを楽しみながら、自分なりに試したり発見したりして水に親しみ、面白さを感じていきます。



## 5歳児 うみ組

5月のバス遠足で行った動物園で見た動物を描いて楽しむうちに、それを動かして遊びたいという思いが強くなり、ペープサートの劇ごっこへと変化していきました。動物の他にも「紙飛行機を劇に出したい」「街とか山とかも作って飾ろうよ」と役や背景が増えていくと、登場人物によって毎回話を変えながら劇ごっこを繰り返し楽しんでいました。「先生たちに見てもらおう」と、急遽開幕した時は、まだ自分たちが楽しんでいるだけでしたが、先生方からたくさんの拍手をもらえたことが自信につながり、「次は誕生会で発表したい」という思いが膨らんでいきました。ストーリーもセリフも友達と意見を出し合いながら考え、完成したのが『ヤマアラシの誕生会』です。ヤマアラシが飛行機で沖縄に行って誕生会をするという話なのですが、子どもたちが体験してきたことがセリフのあちこちに活かされていて面白い劇になりました。誕生会では緊張しつつも楽しみながら演じていました。

子どもたちが自ら考え遊びを進めていく姿を見て、子どもたちのもつ力の大きさに改めて気付かされました。これからも友達と意見を伝え合いながら一緒に遊びを作っていくことを楽しめるよう、環境を整えていきたいと思います。

- 学級の友達とのつながりを感じながら互いの気持ちや考えを出し合い、意欲的に活動できるようにしていきます。
- プール遊びや水遊びなどをする中で、自分なりの目標をもって挑戦し、できた喜びを味わえるようにしていきます。



## そよかぜ

戸外遊びを楽しむ中で、花や実、虫などの自然に興味や関心を広げ、遊びに取り入れる姿が増えてきました。桑の木に、赤い実が鈴なりに実ったことに気づいた子どもたちは「桑の実いっぱいになってるね」「赤い実と紫色があるよ!」と小さな実の収穫が始まりました。容器いっぱい集めた桑の実を見つめていた4歳児が「色水を作りたいけど、どうやって作るか分からない」と話していると、そばで聞いていた5歳児が「じゃあ、教えてあげる。一緒に作ろう!」と優しく声をかけていました。5歳児がすり鉢の中に桑の実と水を入れ、すりこぎでつぶすと淡いピンク色の色水になりました。その様子を4歳児はじっと見えています。そして作り方が分かると、早速すり鉢とすりこぎを持って来て桑の実の色水を作っていました。自分でできる喜びや楽しさを味わった4歳児の表情は晴れやかです。5歳児は、遊びの経験を通して学んだことを友達に伝えていました。これからも様々な遊びを通して、異年齢児との関わりを楽しめるようにしていきます。

- 一人一人の思いや話そうとする姿を丁寧に受け止めたり、言葉を添えたりして、友達や保育者に自分の思いや考えを自分なりの言葉で伝えられるようにしていきます。
- 様々な素材を用意し、子どもたちが自分のイメージしたことを表現して楽しめるようにしていきます。





〔7月の行事予定〕

日	月	火	水	木	金	土
	1 水遊び①～③始 避難訓練①～③	2 おはなし会 ④⑤	3	4	5 七夕①～⑤	6 避難訓練
7	8	9 夏まつり ①～⑤	10 安全指導	11 避難訓練④⑤	12	13
14	15 海の日	16 身体測定 誕生会④⑤	17 おたのしみ おやつ④⑤	18 マイ保育園	19 終業式④⑤ 短 11:45 降園 合同保護者会①～⑤	20 夏季休業 短 始
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			



〔8月の行事予定〕

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6 避難訓練	7	8	9 安全指導	10
11 山の日	12 振替休日	13	14	15 身体測定	16	17
18	19	20 夏季保育 ④⑤短	21 夏季保育 ④⑤短	22 夏季保育 ④⑤短	23	24
25	26	27	28	29	30 水遊び①～③終	31 夏季休業 短 終



れんらく

【七夕】5日（金）①～⑤

七夕の話を聞いたり、笹飾りを作って飾ったりします。  
この日は七夕の特別献立をいただきます。

【夏まつり】9日（火）

第一園舎 4, 5歳園児・・・10:00～10:45  
全園児親子・・・16:00～17:00

第一園舎で、夏まつりを行います。親子で雰囲気を楽しみながら楽しいひと時を過ごしましょう。

詳しくはお知らせをご覧ください。

【おたのしみおやつ】17日（水）④⑤

チョコバナナ風：バナナにココアソースをかけて、ビスケットをトッピングしていただきます。

【終業式】19日（金）④⑤ 1学期の終わりの式をします。

時間：11:15～11:30

服装：標準服

<降園時間>短時間利用・・・11:45降園

【合同保護者会・絵本講演会】19日（金）第一園舎遊戯室

合同保護者会 14:45～15:00

絵本講演会 15:05～16:00

詳しくはお知らせを配信します。

※保護者会、講演会に参加する短時間利用の方は16:00までお子さんをお預かりします。

翌日から8月31日（土）まで夏季休業日となります。

長時間利用児は保護者の就労に応じた時間です。



【8月13日（火）～16日（金）の保育】

全園児第二園舎にて保育をします。第二園舎に登園してください。

【始業式】9月2日（月）④⑤

2学期の始まりの式をします。

時間：9:30～9:45

服装：標準服

<降園時間>

短時間利用 11:45

長時間利用 保護者の就労に応じた時間

※短時間利用児は9月3日（火）から給食が始まります。



9月の主な予定

2日（月）始業式④⑤

5日（木）8月の誕生会④⑤

6日（金）プール指導④⑤終

11日（水）避難訓練 安全指導

17日（火）身体測定・お月見④⑤

19日（木）9月の誕生会④⑤・マイ保育園

25日（水）運動会総練習③④⑤